



下田・本郷地域まちづくり会議ニュース第3号

「災害後の復興まちづくりを考える」



平成27年2月4日(水) 下田市役所大会議室



下田・本郷地域で活動や居住されている20名のまちづくり会議委員によって、最終回は、大規模地震により津波が発生し、下田が被災したことを想定して、「震災後の下田市(下田・本郷地域)のまちづくり」について話し合いました。

グループごとの成果 (Aグループ)



下田市 津波ハザードマップ (下田地区)

グループごとの成果 (Aグループ)

安政の大地震

- 下田は安政大地震では2年で復興している。それに学ぶ
- 安政大地震は復興に幕府が大金を投じている

公共施設

- 下田は公共施設があるので他の都市よりは良い
- 津波の後は役所を街中に持ってくる

居住地について

- 自分の土地に戻りたいという気持ち
- 8割ぐらいいは戻りたいと思う
- 大きな会社の誘致(平らになったら)

土地の不安

- 登記簿と実測が違ふ
- 登記簿みたいにはうまくいかない
- 区画のチェックは行政がやってほしい

駅の場所

- 駅は今の場所でもよい

昔の町名

- 昔の町名を復活させるほうが良い
- 旧町名にちなんだ店や仕事を進める

道路の復興

- 道路は車のすれ違いができ、歩道をつくる
- 昔の歴史を大切にしたいまちづくりとして、道路を広くしてもよい
- 道路は広くなくても、車は停めて回遊性を持たせる
- 流された後は道路も含め新しくしたい

避難について

- 外国人向けハザードマップが必要
- 2次避難所がない(助かる場所がない)

不安

- 下田は地盤が弱い、柔らかい
- 何もなくなった時には考えられない
- 働ける場所があるか否か

武ガ浜の活用

- 下田はカードを使える店がない(富裕層の誘致が必要)
- 武ガ浜にカジノを誘致する
- ボートの免許が合宿で取得できる施設の誘致

出来れば電気、ガス等を地下につくりたい

下田はカードを使える店がない(富裕層の誘致が必要)

武ガ浜にカジノを誘致する

ボートの免許が合宿で取得できる施設の誘致

津波による浸水の発生

浸水深度(メートル) 高さの目安と危険度

| 浸水深度(メートル) | 高さの目安と危険度 |
|------------|--|
| 0.50以下 | 浸水が浅く、危険度は低い。 |
| 0.50~1.00 | 浸水が浅く、危険度は低い。ただし、1.00メートルを超えると、危険度は高くなる。 |
| 1.00~1.50 | 浸水が浅く、危険度は低い。ただし、1.50メートルを超えると、危険度は高くなる。 |
| 1.50~2.00 | 浸水が浅く、危険度は低い。ただし、2.00メートルを超えると、危険度は高くなる。 |
| 2.00~2.50 | 浸水が浅く、危険度は低い。ただし、2.50メートルを超えると、危険度は高くなる。 |
| 2.50~3.00 | 浸水が浅く、危険度は低い。ただし、3.00メートルを超えると、危険度は高くなる。 |
| 3.00~3.50 | 浸水が浅く、危険度は低い。ただし、3.50メートルを超えると、危険度は高くなる。 |
| 3.50~4.00 | 浸水が浅く、危険度は低い。ただし、4.00メートルを超えると、危険度は高くなる。 |
| 4.00~4.50 | 浸水が浅く、危険度は低い。ただし、4.50メートルを超えると、危険度は高くなる。 |
| 4.50~5.00 | 浸水が浅く、危険度は低い。ただし、5.00メートルを超えると、危険度は高くなる。 |



下田市 津波ハザードマップ (下田地区)

津波ハザードマップの活用方法

- 一時的な避難場所（仮設）の指定をお願いします。
- 地域の避難所の場所と容量を調べましょう。
- 高台から避難所への経路を調べましょう。
- 地域の避難所などで活用しましょう。
- 浸水地域、避難場所、避難経路を把握し、地域の防災マップを作成しましょう。

津波の時に避難する場合は・・・

- 津波が来たら、高台や避難所へ避難しましょう。
- 津波が来たら、高台や避難所へ避難しましょう。
- 津波が来たら、高台や避難所へ避難しましょう。

津波による浸水の浸水高

| 浸水高 | 浸水高 | 浸水高 |
|---------|---------|---------|
| 1.00m以上 | 1.00m以上 | 1.00m以上 |
| 0.50m以上 | 0.50m以上 | 0.50m以上 |
| 0.20m以上 | 0.20m以上 | 0.20m以上 |
| 0.10m以上 | 0.10m以上 | 0.10m以上 |
| 0.05m以上 | 0.05m以上 | 0.05m以上 |
| 0.02m以上 | 0.02m以上 | 0.02m以上 |
| 0.01m以上 | 0.01m以上 | 0.01m以上 |
| 0.00m以上 | 0.00m以上 | 0.00m以上 |

下田富士の活用

- 下田富士を平らにして住む場所にする
- 残土で、周辺を盛土する

指定避難場所一覧表

| 避難場所 | 所在地 | 電話番号 |
|-------|-----|---------|
| 海軍駐屯地 | 下田 | 20-3473 |
| 三浦地蔵 | 下田 | 20-4033 |
| 下田消防署 | 下田 | 20-4003 |

復興

- 二度と被害を受けないまちづくりをすべき
- 下田・本郷は他へ移ることができない
- 高齢者は借金をして住宅は建てられない

観光の復興

- 観光用地を優先的に復興する
- 働く場もできる
- 魅力あるまちをつくる仕事が仕事になる

道路の復興

- 復興道路(このルートの方が短く復旧が早い。縦貫道へも近い)
- 道路が狭いので、広げることが必要
- 路地には魅力があるので、広い道と路地が必要

電車の復興

- 伊豆急が流されたら元の位置に残るのだろうか
- 伊豆急は伊東から先が動かないのではないか

拠点づくり

- 中央商店街駐車場を市で取得して複合施設にする
- 復興の拠点とする

海から復興する

- 堤防が必要

造成による居住地の形成

専門学校の誘致 (競艇など、海に関する学校)

ペリーロードが失われたら、今以上のペリーロードをつくる (なまこ壁、伊豆石の街並みに)

下田IC (仮)

下田富士

下田青葉上

下田幼稚園

下田消防署

中央商店街

海軍駐屯地

三浦地蔵

全3回において話し合いました内容は、「下田市都市計画マスタープラン」に位置づけさせていただくとともに、計画書完成後は、市内各地域で順次、実践のための「プロジェクト推進業務」を進めます。

お問い合わせはこちらまで
 下田市役所 建設課 都市住宅係
 TEL:0558-22-2219 FAX:0558-27-1007
 E-mail : kensetsu@city.shimoda.shizuoka.jp